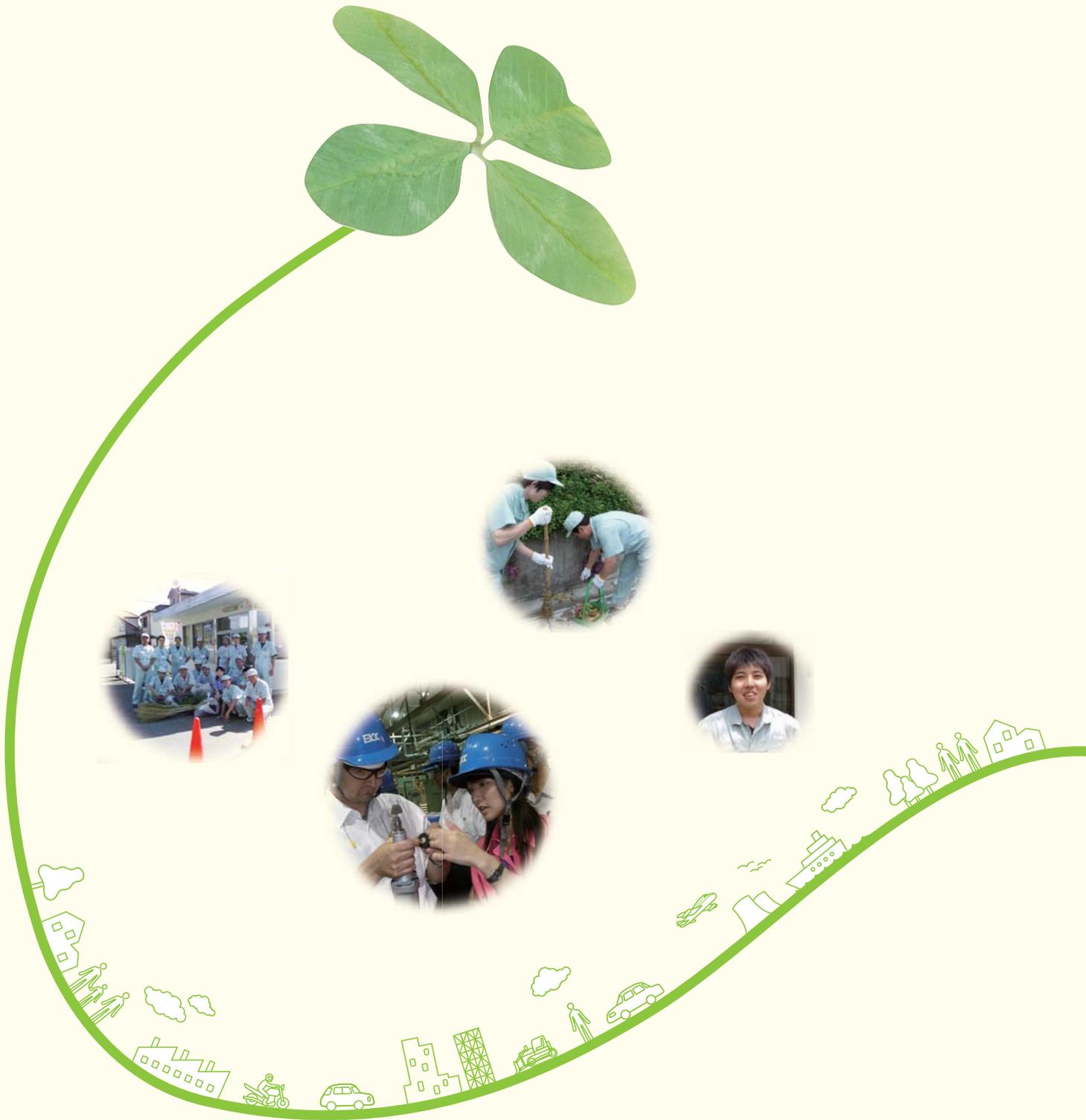


# EKK Group | CSR Report 2009



## 目次

目次・編集方針	2
会社概要	2
トップメッセージ	4
EKKについて	5
経営方針	5
社会・環境に貢献するEKK製品	6
EKKのマネジメント	8
環境報告	10
環境マネジメントシステム	10
環境負荷低減の取り組み	13
社会性報告	16
社会・地域とともに	16
従業員とともに	18

## 編集方針

本CSR報告書は、環境活動報告、安全衛生活動報告に加え、社会的側面に関する記載の充実に努めました。

本報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン(2007年版)」「およびGRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2007」を参考に作成しました。

### ■ 報告対象期間

2008年度(2008年4月1日から2009年3月31日)の実績が中心ですが、2009年度の取り組みを一部含んでおります。

### ■ 報告対象組織:

イーグル工業株式会社  
 イーグルブルグマンジャパン株式会社  
 コベルコイーグル・マリンエンジニアリング株式会社  
 岡山イーグル株式会社  
 島根イーグル株式会社  
 北海道イーグル株式会社  
 イーグルサービス株式会社  
 リグナムバイター株式会社  
 株式会社EKKアグリサイエンス  
 株式会社バルコム

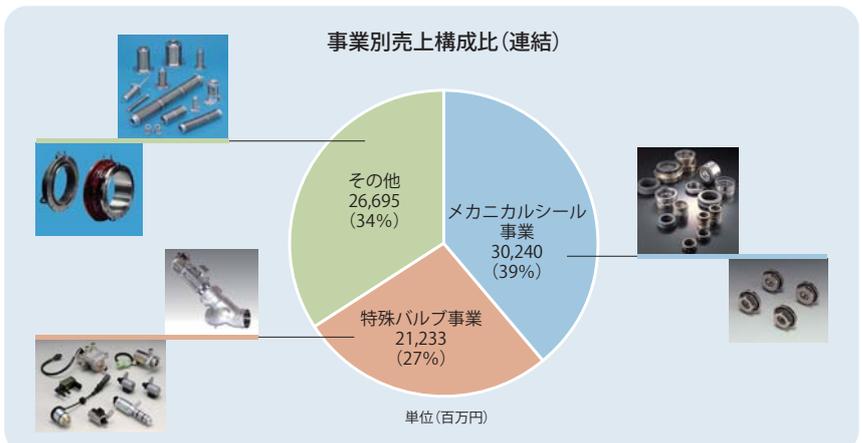
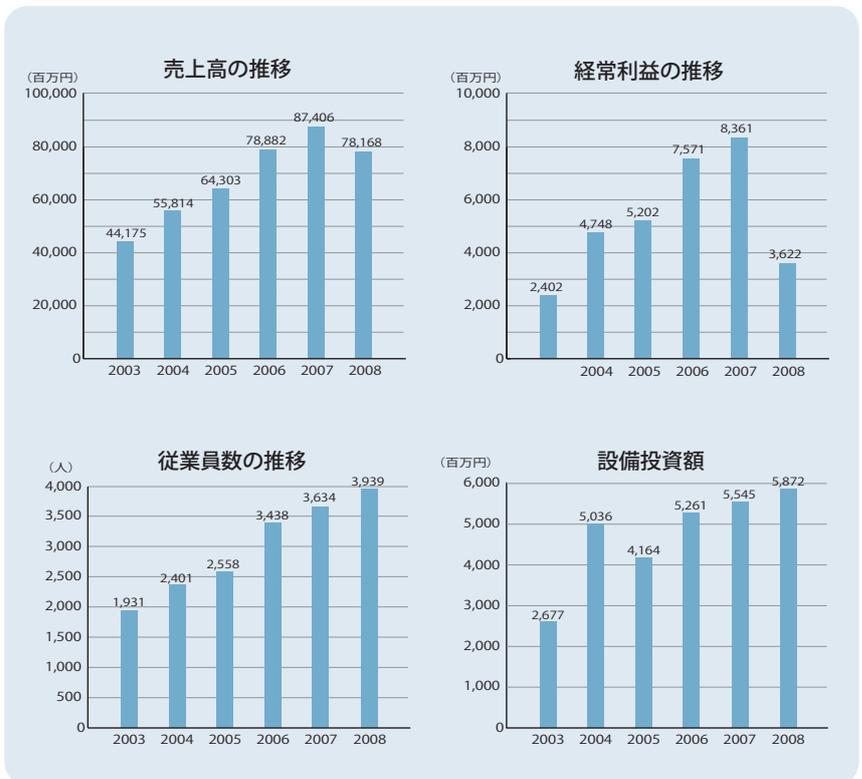
### ■ 報告書発行日:2009年10月15日

### ■ CSR報告書に関するお問い合わせ

イーグル工業株式会社  
 業務本部 総務部 CSR課  
 TEL.03-3432-3892  
 FAX. 03-3432-5448  
 〒105 - 8585  
 東京都港区芝大門1-12-15  
 URL <http://www.ekk.co.jp/>

## 会社概要

商号	イーグル工業株式会社 EAGLE INDUSTRY CO.,LTD
本社所在地	〒105-8587 東京都港区芝大門一丁目12番15号 電話 03-3438-2291 <a href="http://www.ekk.co.jp/">http://www.ekk.co.jp/</a>
事業内容	汎用・工業用メカニカルシール、ガスシール、特殊シール、ペローズ応用製品 船用製品、ダイヤフラムカップリング、特殊バルブ等の製造販売
資本金	10,490,981,500円
従業員数	739名(企業集団全体の従業員数は3,939名)







## トップメッセージ

「より良い会社」を常に追求しながら、  
「より良い社会」の実現に貢献していきます。

私どもEKKグループの中核企業であるイーグル工業株式会社は1964年東京オリンピックが開催された年にNOK株式会社と米国シーロール社との合併企業として設立され、その後、日本をはじめ世界44カ国に子会社・関連会社約100社を有する東証一部上場のグローバル・アンド・パブリックカンパニーに成長してまいりました。主力製品である各種ポンプ等に使われる軸封装置メカニカルシールをはじめ関連機器を世界中の約4,000名の従業員の手により文字通り世界中で作り世界中に販売しています。

2008年度の経済環境は、原油・原材料価格の暴騰や為替変動の影響を受け先行きが危ぶまれる経営環境で始まり、年度後半に入り米国サブプライム問題に伴う欧米金融機関の破綻などで世界的金融危機の大きな影響を受けました。一般産業機械・自動車・建設機械などの当社の主要なお客様の業界においても設備投資の凍結、急激な在庫調整が拡大し、世界同時不況の激震に見舞われました。その結果、2008年度の業績は売上高では前年対比11%減の781億円、利益では57%減の36億円で終了しました。このような経営環境の変化の中にあっても、地球環境問題は年々多様化・深刻化しており、温暖化対策の強化、循環型社会への移行、相次ぐ化学物質規制など、地球環境問題に対する社会の要求は益々厳しいものとなってきています。

EKKグループの経営に対する基本的な考え方は、「企業は株主、従業員及び地域社会三者の共有物である」となることであり、これを経営の端々にまで展開しています。すなわち、働く従業員の満足度向上を図るために、あるいは地域社会に受け入れられるために、各種法令の遵守を何より優先するコンプライアンスの徹底、自然保護の立場での環境経営の展

開、あるいは環境保全への積極的貢献、労働安全衛生に対する徹底した管理、製品の品質を確保するための各種品質活動の充実などであり、それらはISO14001、ISO9000、あるいはISO/TS16949等の運用実施に表れています。これらの活動を着実に実施した上で企業業績の向上を図ることが、株主の皆様、従業員および地域社会のご期待に応えることと考えています。

企業の重要な目的の一つは、社会において次世代に生きる人々に美しい地球を残すため、従業員一人ひとりが環境問題を意識し積極的に地域社会活動等を支援していくことであり、その行動を実践していくことであります。

いつの時代でも、いつまでも、EKKグループは全てのステークホルダーが誇りを持てる、また地域社会からも愛される“良い会社”であり続けなければなりません。“良い会社”であり続ける、これがEKKグループの最終的に目指している姿であり、また“より良き社会”の実現のために貢献していくことができる、これがEKKグループの願いです。

本報告書「CSR報告書2009」はEKKグループの環境保全活動への取り組みおよび社会的な活動をご理解していただくとともに、コミュニケーションの重要な手段の一つと考えています。皆様の忌憚のないご意見、ご感想を頂戴できれば幸いです。

イーグル工業株式会社  
代表取締役社長

鶴 鉄二

## 経営方針

すべてのステークホルダーに誇りを持っていただける企業を目指します。

## 経営の基本方針

当社の経営に対する基本的考え方は「企業は株主、従業員、地域社会の三者の共有物であり、これにお客様、サプライヤー、金融機関等を加えたいわゆるステークホルダーのすべてが常に誇りを持てる会社となる」と

いうことであります。そのために遵法精神に則り、社会に貢献する商品を通して高い収益力を持った強い会社となるよう、不断の企業活動を展開しています。

## EKKのCSR経営



## 体質改革2カ年計画

企業体質の大改革  
智恵と工夫で逆境に立ち向かおう

体質改革2カ年計画の目標は、「ピーク時売上高の30%減である「連結売上高700億円」でも利益の出る企業体質」を2011年3月期までに構築することです。具体的には、グループ連結企業全社の取り組みとして、営業利益、製品在庫、設備投資、減価償却費の4項目を重点指標と捉え、あらゆる分野での聖域なきコスト削減・見直しを断行し、「在庫削減（適正在庫維持）」と「投資の抑制」により、キャッシュフローの改善を図り、債務返済の原資を確保する体制を整え、企業の財務体質の強化を図ります。

また、将来を見据えて人材育成・教育を強化するとともに、当社の基本的経営方針である安全・品質・環境の維持・向上にも注力します。更に、完成したEBIアライアンスの効果を発揮すべく、海外新市場や未開拓の成長市場に向けた重点的な拡販強化とともに徹底したアフターケアを始めとするフォロー体制により、顧客志向の商品展開を進めます。

これらの計画は、実効性を高めるべく各項目の進捗を適時確認し、未達目標に対しては柔軟に追加施策を講じつつ、単年度目標、2カ年目標の必達を目指します。

## 更なる飛躍を目指して

しかしながら、更に将来までを展望とすると、当社グループの直面している足許の危機的状況は、一時的な景気の減速からすぐに回復するという短期的なものではなく、取り巻く事業環境や状況の大変動、いわゆるパラダイムシフトの序章であると捉えています。

当社グループは、この危機の後に起きるであろう環境変化までを見据え、抜本的な事業ポートフォリオの変革に取り組んでまいります。

事業環境の変化の方向としては、「省エネ」や「エコロジー」といったキーワードに代表される地球環境への各ユーザー業界の対応に既に明らかです。従来からの化石燃料から代替エネルギーへの転換等、環境保全への動きが、今般の危機への対応策として注目され、電動化や省エネ事業への展開が更に加速される一因となっております。

特に自動車市場における環境対応車、電気自動車へのシフト化は、当社グループ製品の需要減へとつながることから、「環境・省エネ対応製品にベクトルを向け経営資源を集中する」、「既存AI\*事業からの脱却と新規事業の開拓」を喫緊の課題とし、体制を強化いたします。

足許の厳しい状況においては、更なる合理化やコスト削減といった施策は勿論ですが、世の中のニーズを把握し未知の事業環境への対応や創出も不可欠であります。

与えられた事業環境を、大きなチャンスだと捉え、企業体質を大幅に変革し更に飛躍ができる企業になっていることをまず目指しますが、先々の変化にも的確に対応し、再度グローバル・インテグラル・カンパニーを目指して邁進してまいります。

\*AI: Automotive Industry (自動車産業)

1964年の設立以来、産業の基礎を支える製品づくりを中心に事業活動を進めています。

## こんなところにEKK製品

### 自動車

自動車のウォーターポンプ用メカニカルシール、カーエアコン用リップシールやコントロールバルブ、エンジン・トランスミッション・足回り・燃料装置用ソレノイドバルブなど、多彩な製品があります。



### 発電所

原子力発電所で原子炉の一次系冷却材ポンプに使われる軸シールや、原子炉運転中の万一の事故の際に主蒸気ラインを隔離する主蒸気隔離弁などを納入し、最高レベルの安全性能で信頼に添えています。



### 二輪車

二輪車等の排ガス対策用リードバルブをはじめ、低速から高速までの高出力仕様・2サイクルエンジン用フラットタイプリードバルブなどをお届けしています。



### 船舶

船舶のプロペラシャフトに装着され、潤滑油の船外漏洩や、船内への海水進入を防ぐスタンチュープシールのほか、優れた耐久性を誇るスタンチュープベアリング等により、安全で地球環境にも優しい航行に貢献しています。



### 家庭用製品

家庭の井戸水汲み上げポンプなどに使用されるメカニカルシールとして、機器構造に応じて選定していただける豊富なラインナップを取り揃えています。当社オリジナルのロングセラー製品です。



### 産業機械

生産設備機械・石油化学プラントなどあらゆる設備機械のシール装置部やポンプ類などに使用されている各種メカニカルシールをはじめ、磁性流体シールや溶接金属ペローズ、変位センサー、圧力計測機器類を製造しています。



### 建設機械

ショベルカーやブルドーザーなどの掘削機械等や、農業用機器等の足回りに使われるフローティングシールにより、さまざまな建設・農業事業を支えています。



### 航空・宇宙

航空機やロケットのエンジンメインシャフト、エンジンギアボックス、ターボポンプなどに使用される各種シールを開発製造しています。「高温・高圧」という過酷な使用条件に耐える製品により、高い評価を得ています。



#### サイトレポート

イーグル工業  
株式会社  
埼玉事業場



事業場長  
上席理事  
業務副本部長  
平原 雅翁

製品の仕様検討や製造工程見直し、ボイラーの天然ガス化などで、CO2はじめ多くの環境指標を達成できました。又、植樹やヒメイワダレ草による緑化を推進しました。

2009年度も引き続き環境配慮型の製品開発と共に、オゾン層破壊物質の削減や廃棄物100%リサイクルに向けた活動を継続して行います。

教えて！  
高森さん

## EKK製品が環境負荷低減のためにできること

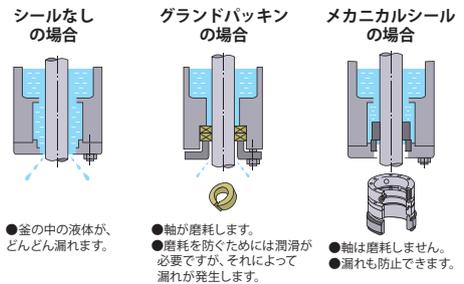


イーグル工業の主要製品の一つに、メカニカルシールがあります。これがなんと、国内外の自動車に搭載されている冷却水のウォーターポンプ用メカニカルシールがあり、世界の大多数の自動車に使用され高いシェアを占めているばかりか、ほかのさまざまな分野でも強い信頼を得ています。その秘密は、回転機器の働きをしっかりとサポートし、しかも内部の流体を漏らさない高度な技術力。くらしや産業を支え、おまけに環境にもやさしい、すぐれものなのです。

Q  
メカニカルシールって何ですか？

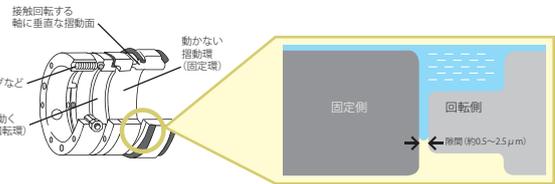
はいっ！ 私、イーグル工業株式会社環境管理部の高森がわかりやすく解説します。メカニカルシールとは回転機器の漏れ止めのことです。一言に回転機器の漏れ止めと言ってもピンときませんね。どうして「シール(密封するが語源)」するのか、簡単に説明してみます。下の図は大きな釜の中を表したもので、中心に回転する軸があり、その釜の中には液体が入っているとします。

ここで、我々メカニカルシール業界は液体の漏れを制限することを「シール」と表現します。釜の中の漏れ出した液体が地球を汚染する油や溶剤だとしたら、どうなるでしょうか…？メカニカルシールは大きな地球を救う小さな環境製品です！  
メカニカルシールは大きな地球を救う小さな環境製品です！



Q  
どうやってシール(漏れを制限)するのでしょうか？

回転側と固定側の間にごくわずかな隙間でシール(漏れを制限する)しています。このわずかな隙間(漏れず、焼付かず)が弊社の技術力なのです。メカニカルシールが精密部品と言われるゆえんであり、生命なのです。



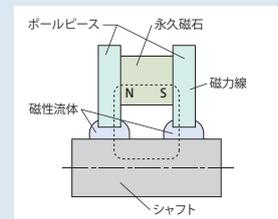
当社ホームページでもご紹介しています。  
<http://www.ekk.co.jp/mechanical/index.html>

環境配慮型製品-1

## 耐熱磁性流体真空シール

磁性流体真空シールとは、磁石にくっつく液体である磁性流体を磁力で保持し、大気と真空を分離して、真空側に回転運動を伝達するシールです。固体同士のしゅう動部がなく、高密度性、非発塵性、低摩擦トルクという長所を持っていることから、主に半導体製造装置・FPD・PV製造装置などのクリーンな環境で使用されています。

EKKの磁性流体真空シールは、磁性流体にNOK・EKKグループ独自技術により耐熱性を付与することで、冷却系の省力化や反応生成物付着量減少が可能で、メンテナンス周期の長期化による省人化や廃棄物量の削減ができます。又、低蒸気圧で低アウトガスのため到達圧力達成に必要な真空ポンプ排気能力を小さくでき、使用電力の低減ができるなど、環境にやさしいシールです。



シール製品の構造

サイトレポート

イーグル  
ブルグマンジャパン  
株式会社



事業場長  
専務執行役員  
伊藤 正伸

当社は1989年にEKKグループのGI\*製品生産拠点として発足し、2006年にはドイツのブルグマン社との業務提携により国際的企業へと発展を遂げました。設立以来20年、自然豊かな新潟県五泉市に根をはりつつ、メカニカルシールをはじめとした汚染防止や省動力化に優れた製品群を世界各国の様々な産業分野に展開し、地球環境保護に努めています。

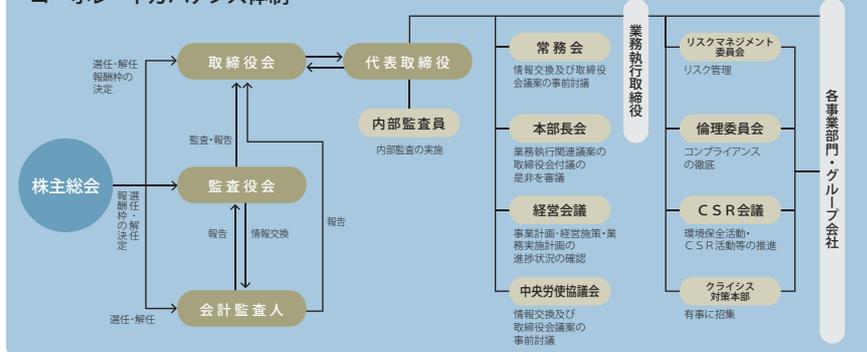
\*GI: General Industry (自動車業界を除く「一般産業機械業界」)

## コーポレートガバナンス

当社は経営の意思決定がただちに実行に移されるよう常に組織の見なおしを行ない、同時に大幅な権限委譲と責任の明確化を図り、最大の成果を達成しうる体制をととのえてまいります。特に経営会議をはじめとした各種会議にはその重要性に応じ監査役、労働組合の参加が有り経営の透明性を保っております。さらに経営トップによる本部・事業部診断は経営層レベルにおける問題点の把握と共通認識を図る体制になっています。

また企業活動の多様化、グローバル化等に伴い企業としてのリスク管理の重要性が増しておりますので、リスクマネジメント委員会を設置し有事での備えをいたしております。そのほか全従業員を対象とした行動規範を策定しモラルの向上を図っております。

### コーポレートガバナンス体制



## 事業活動における倫理上の行動指針

### 1. 倫理の心

会社で働く人々は、誇りをもって仕事に取り組みたいと願っています。ほとんどの人は、不正なことをやりながら生活したいとは思っていないものです。

自分達の職場で不正な取引や良心に反するような慣習があれば、それに疑問を差し、改善したいと考えています。

本来、職場は、各人にとって自己実現の場であらなければならず、自己の良心に反しながら苦しみ葛藤する場にはなりません。(麗澤大学:倫理法令遵守マネジメントシステム規格の序文より引用)

### 2. あなたの役割

会社は、誠実さ、高潔さ、品格を高めることで社会の評価を受けています。

この評価を保ち高めるには、あなたは、あらゆる場面での意思決定や行動において正しい判断をしなければなりません。

### 3. 職場の雰囲気

会社は、健康的で安全でかつ効率的な仕事が出来るように職場環境作りをしています。職場での性的ハラスメント行為、暴言、冗談により職場の雰囲気を不快にすること、周囲を怯えさせること、またはそのような状態を放置したり助長することは、職場環境に好ましくないものとして禁止しています。

### 4. プライバシー

会社は、個人の収入、健康、福利厚生上の情報等を集積し、行政機関との手続きに利用しており、これらの情報は厳格に管理して情報の保護にあたっています。これらの業務に携わる従業員は、知り得た情報を他のいかなる目的にも利用したりしてはなりません。

### 5. 会社資産の保護

会社には設備、建物、備品をはじめ、知的財産、一般的な技術情報、及び顧客から預かる機密文書等さまざまな有形、無形の資産があります。これらの資産の保護は、全ての社員の仕事であり、不正に使用したり、うっかり漏洩したり、盗難に遭うようなことのないように普段から万全の注意をはらわなければなりません。

### 6. 正確な報告

従業員は、業務の成果報告を記録したり、提出したりしています。

例えば、技術者なら試験報告であり、営業なら受注報告であり、研究者なら研究報告であり、経理なら会計報告等です。これらの報告・記録がさまざまに関係する法律に抵触する場合があります。虚偽の報告、記録は会社の経営判断を狂わせることとなります。これらは誠実・正確かつ事実に基づくものでなければなりません。

### 7. 健全な取引関係

会社は、売り手の立場であっても、買い手の立場であっても、これらの取引関係に、法令の遵守と社会の倫理を尊重します。従業員は、取引先の誰に対しても誠実な言動、誤

解されない言動に努めなければなりません。この明快で率直な取引関係によって信頼関係を作り上げ、永続的な取引を築きます。

### 8. ライバル社との接触

事業活動において、ときにはライバル社と話しあったり、接触したりすることがあります。このようなときは、製品価格、契約条件、生産計画及び製品の技術情報等について話合うことは、談合として違法となりますので注意してください。

### 9. 他社の情報収集

事業活動、営業活動の中で、他社の情報、ライバル社の製品情報を収集することは適正な営業行為です。これ自体は倫理に反するものではありません。取引先の信用情報、購入先の評価等、目的に応じて正当な手段で情報を収集しています。しかし、収集した情報の利用は目的の範囲に限定されるべきであり、他に漏洩しないように慎重に取扱わなければなりません。

### 10. 使用制限付きの情報利用

お客さまから、製品供給の契約履行に必要な、使用制限付き情報(官公庁からの機密保持が必要な情報等)を文書又は口頭により提供を受ける場合があります。このような場合には、その使用条件について相手方と正式に合意した契約を行わない限り受領してはなりません。更に使用制限付き情報の契約は、稟議規程による承認を必要とし、契約後は、その契約内容に記載された使用・コピー配付・管理の取り扱いをしなければなりません。契約内容を逸脱した取り扱いは、いかなる場合も、法律違反と理解しなければなりません。

### 11. 贈答・接待

会社が提供する贈答物はさまざまです。贈る場合も贈られる場合も節度のあるものならば社会的にも法的にも許されています。しかし、議論の余地なく許されない賄賂は受けても渡しても罪になります。

会食や接待というビジネス上の慣習的儀礼は一定の範囲で行ったり受けたりすることが出来ます。しかし、相手方が官公庁職員の場合は、国家公務員倫理法および同規則の施行により法律違反です。

又、国により、これら法律や習慣は異なりますので、現地の法律により適法な行動が求められます。

### 12. 法令の遵守

会社は、コンプライアンス精神を事業活動の原点としています。業務遂行上、各種の法律上の問題に遭遇することがあります。その場合は、所管部門に相談の上、新たな法令の事項は総務部等関係部門に相談し、進めなければなりません。

顧問弁護士の助言を受けることで、未然に法律違反を回避することも出来ます。



## リスクマネジメントの体制

事業活動に潜むリスクを認知し、その顕在化を防止し、クライシス（緊急事態）発生時の対応を定めるため、EKKは2003年に「リスクマネジメント方針」および「リスクマネジメント規程」を制定しました。

各本部・事業部および各関係会社は、「リスクマネジメント方針」に基づき、企業倫理、法令遵守の徹底およびリスクマネジメントの推進に努めるとともに、これらの活動を通じてより高い企業倫理の醸成を図っています。

### リスクマネジメント方針

#### ■基本理念

イーグル工業株式会社及びそのグループ会社の経営に対する基本的な考え方は、「企業は株主・従業員・地域社会の三者の共有物であり、これにお客様、サプライヤー、金融機関等を加えた、いわゆるステークホルダー（利害関係者）の全てが常に誇りを持てる会社」となることです。そのため社会に貢献する商品を通じ高い収益力を持った強い会社となるよう不断の企業活動を展開しています。

この展開に当たってはコンプライアンス（順法精神）を原点として、リスクマネジメントシステムを確立し、企業としての社会的責任を果たします。

#### ■行動指針

1. 良い商品とサービスを提供することにより社会的評価を高める。
2. リスクを明かにして、社員の安全・健康並びに経営資源の保全を図る。
3. 危機が発生した場合には、被害を最小に抑え迅速な回復を図る。
4. 外部関係者のリスクを明かにして、その安全・健康並びに利益を損なわないようにする。
5. リスクが顕在化した場合には、外部関係者に対して責任ある行動をとる。
6. リスクに関連する社会的要請（法令・社会的価値観等の変化）をリスクマネジメントシステムに反映する。

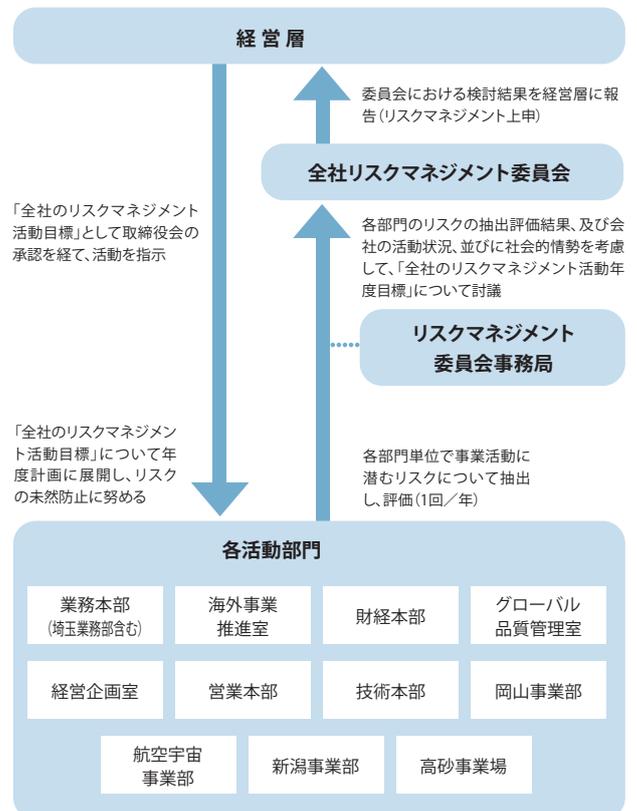
2003年10月1日

イーグル工業株式会社  
代表取締役社長 鶴 鉄二

リスクマネジメントの運用については、以下の組織を置いています。

リスクマネジメント委員会	事業活動に潜在するリスクを抽出・評価し、それらを組織的認識のもと、予防策の推進を図ります。
クライシス（緊急事態）対策本部	クライシスが発生した場合、総力を挙げて緊急に状況の早期把握に努めるとともに、迅速的確な状況判断のもとに、初動体制を確立し、被害の拡大防止を図ります。
倫理委員会	会社の事業運営に伴って発生する倫理上の問題に関して、法令、業界のルール、社会規範に照らし、誠実透明かつ適正なる倫理に即した行動を保证する体制を整えます。また、会社が市場からの信任と評価を得られるような諸施策、および従業員の労働環境を倫理という視点から改善するような諸施策を推進します。
倫理相談窓口	従業員からの倫理疑義事項（法令、業界のルール、社会規範に照らした疑問事項）の解決を図り、適切な企業行動の維持を図ります。 この相談窓口は、社外からの強制的な摘発、従業員等内部者による外部機関への告発、あるいは外部からの批判によってではなく、会社組織自らの力で、従業員の協力を得ながら、不公正な商慣習、違法行為、問題ある取引慣行などを事前に発見し、主体的に解決する「自浄制度」です。

### リスクマネジメント運用体制



サイトレポート

岡山イーグル株式会社



代表取締役社長  
黒川 修二

2008年度に、ジクロロメタン・トリクロロエチレンを全廃することができました。また、職場の環境整備と、福利厚生整備として事務・厚生棟の新設を行ないました。さらなるCO<sub>2</sub>排出量の削減、リサイクル率の向上を目指し、企業の役割と地域の環境を配慮しながら、引き続き環境管理活動に取組んで参ります。

環境マネジメントシステムを構築し、環境保全基本方針に基づいた活動を推進していきます。

## 環境マネジメント方針

### 環境方針

#### ■基本理念

イーグル工業株式会社及びそのグループ会社は、企業が社会の一員であること、及び私達が生産するシール関連製品は公害防止・省エネルギー等環境保護に寄与する製品であることを踏まえ、事業の活動、製品及びサービスが地球規模での環境影響に深く関わりを持つことを自覚し、コンプライアンス(遵法の精神)を活動の原点とし、自主的・継続的に地球環境の保全に取り組みます。

#### ■行動指針

1. 製品の開発にあたっては、環境影響に配慮します。
2. 省資源・省エネルギーに努めます。
3. 廃棄物の低減と再資源化に努めます。
4. 環境影響の継続的改善及び汚染の予防に努めます。
5. 法規制及び同意するその他の要求事項を遵守します。  
(その他の要求事項とは、例えば「加入している工業会の環境指針」等をいいます。)
6. 環境目的・目標を設定し、適切な頻度で見直し、環境パフォーマンス向上を図ります。

2006年4月1日

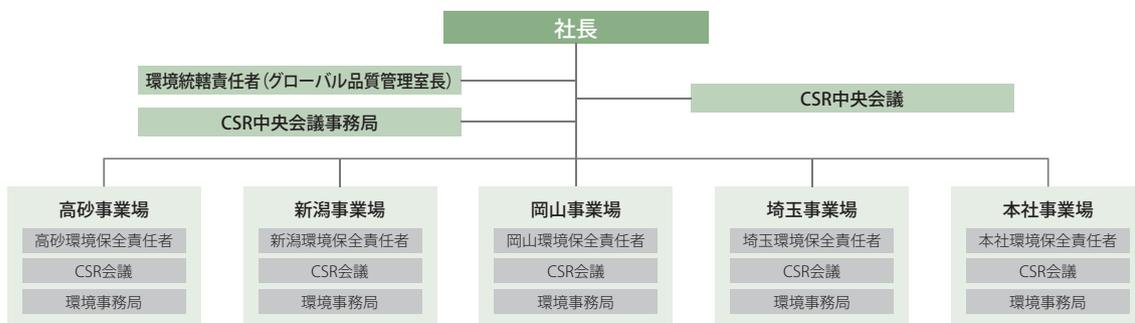
イーグル工業株式会社  
代表取締役社長 鶴 鉄二

## 環境管理組織体制

EKKグループでは、全社規模の環境マネジメント体制を整えています。体制の中心となるのは社長を議長とし、各事業場の環境保全責任者で構成される「CSR中央会議」です。

ここで決定された目的・目標のさまざまな取組が環境保全責任者によって

各事業場に展開されます。また、各事業場の環境保全責任者を議長とする「事業場CSR会議」が置かれ、ここで確認された各事業場の取組みは「CSR中央会議」で報告され、経営層によるマネジメントレビューがなされます。



## ISO14001認証取得状況

EKKグループでは、国内の本社及び生産事業場が環境マネジメントシステムの国際標準規格「ISO14001」の認証を一括取得しています。これにより、同一方針、同一目的・目標のもとに、統一の取れた環境保全管理活動を行っています。2008年6月にEKK営業支店、北海道イーグル(株)、イーグルサービス(株)に認証拡大を行いました。またイーグルブルグマンジャパンの営業支店へ展開し2009年6月に認証の拡大を行いました。2010年度は国内関連会社への更なる拡大展開を目指します。



### イーグル工業の認証取得状況 (審査機関/高圧ガス保安協会)

#### 認証取得サイト

- 本社事業場 EKK営業支店、イーグル・エンジニアリング・エアロスペース(株)  
EKKアグリサイエンス(株)、リグナム/バイター(株)、  
イーグルブルグマンジャパン(株)営業支店、北海道イーグル(株)含む
- 埼玉事業場 技術本部、航空宇宙事業部、イーグルブルグマンジャパン(株)新潟事業所
- 岡山事業場 岡山イーグル(株)、島根イーグル(株)、イーグルサービス(株)含む
- 新潟事業場 イーグルブルグマンジャパン(株)
- 高砂事業場 コベルコイーグル・マリンエンジニアリング(株)



## 環境に関連する法令遵守状況

EKKグループで遵守すべき法令等は全部で243項目あり、すべての項目について定期的に遵守を確認する体制をとっています。

### EKKの事業活動に関連する環境法令等

- 悪臭防止法
- エネルギーの使用の合理化に関する法律
- 下水道法
- 工業用水法
- 工場立地法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 水質汚濁防止法
- 騒音規制法
- 大気汚染防止法
- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
- 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
- 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
- 毒物及び劇物取締法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 特定家庭用機器再商品化法
- ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
- 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
- 河川法
- 瀬戸内海環境保全特別措置法
- 排水基準を定める省令
- 土壤汚染対策法
- 使用済自動車の再資源化等に関する法律
- RoHS指令
- ELV指令
- REACH規制

## 緊急事態対応

EKKグループでは、燃料油・溶剤・排水処理液などが万が一漏洩した際に備え、緊急事態を想定し定期的に緊急事態訓練を実施しています。訓練は緊急

事態に対応する関連各部門を巻き込み真剣に取り組み、実施後の反省を踏まえ改善に結び付けています。



新潟事業場



コベルコイーグル・マリンエンジニアリング呉工場



岡山事業場



## 更新・定期審査および内部監査等

EKKグループでは、監査力量を持ち合せた社内監査員による内部監査、および外部審査機関による毎年の審査を実施し、適正にシステムが運用されPDCAによるスパイラルアップができてきているか審査、確認を行っています。これらの審査結果を経営層へ報告しています。また3年に1回のシステム認証更新審査を受審し認証の維持継続を図っています。



新潟事業場 内部監査



高砂事業場 定期審査



イーグルブルグマンジャパン 東日本支店 拡大審査



島根イーグル(株) 定期審査



高砂事業場 定期審査



岡山イーグル(株) 定期審査

## 環境診断

EKKグループでは半期に一度、各サイト(事業場、関係会社)を訪問し、環境統轄部門が主管となり、環境統轄責任者による「環境診断」を実施しています。この中で、各サイトの環境保全活動に関する計画・実績について、必要に応じて計画の見直しなどを指示します。これにより、環境保全活動の改善を図り、活動を推進しています。

## 環境教育

EKKグループではISO14001の認証取得事業場所属の全従業員に対し、毎年、環境業務推進計画書に基づき環境基礎教育を実施し、環境保全の専門教育を適宜行っております。

また、協力会社へ出向いての教育等も行っております。



岡山事業場

サイトレポート



代表取締役社長  
後藤 一彦

製造部門ではチラーユニットを水冷式から省エネタイプの空冷式に変更し、事務部門では昨年度の取り組み(昼休み消灯、コピー原則裏紙使用、離席時P/C電源オフ)に加え、コーヒーコーナーの紙コップ設置を廃止し「マイカップ」を奨励してE.C.O活動を推進しています。

## 環境目的・目標

環境方針に基づき、毎年、具体的な目標を設定し、その達成に向け取り組んでいます。

### 環境目的・目標 (2009～2010年度)

方針	環境目的	2008年度の 実績	2009年度 環境目標	2010年度 環境目標
製品の開発にあたっては、 環境影響に配慮する	1 会社の技術・資源等を活用し、環境影響の抑制に寄与する製品又は環境配慮型製品を開発する。	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進
	2 鉛・六価クロム・カドミウム未使用製品を顧客提供する。	鉛・六価クロム・カドミウム未使用製品の顧客対応 70.1% [特定製品を除く]	鉛・六価クロム・カドミウム未使用製品の顧客対応 100% [特定製品を除く]	特定製品の鉛・六価クロム・カドミウム未使用製品の顧客対応検討
	3 環境に関する顧客問合せにスムーズに対応する。 (環境負荷物質含有量のデータベース化)	データベース化 74.5%完了	データベース化 100%完了	データベースの維持・管理
省資源・省エネルギーに 努める	4 CO <sub>2</sub> 排出量を2010年までに2005年度対比 31.7%削減する。(原単位でも改善状況の監視) (24,443ton→16,700ton)	19,548ton [2005年度対比20.0%減]	16,900ton [2005年度対比30.9%減] [前年度対比13.5%減]	16,700ton [2005年度対比31.7%減]
	5 コピー用紙使用量を2010年までに2007年度対比 13.4%削減する。(9,583千枚→8,300千枚)	8,998千枚 [2007年度対比6.1%減]	8,400千枚 [2007年度対比12.3%減] [前年度対比6.6%減]	8,300千枚 [2007年度対比13.4%減]
廃棄物の低減と 再資源化に努める	6 廃棄物のリサイクル化を推進し、リサイクル率を2010年までに2005年度対比19.4%向上する。 (76.6%→96%)	92.1% [2005年度対比15.5%向上]	94% [2005年度対比17.4%向上] [前年度対比1.9%向上]	96% [2005年度対比19.4%向上]
環境影響の継続的改善 及び汚染の予防に努める	7 PCB入り設備(装置)を適正に管理する。	適正管理維持を実施	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理
	8 2010年までにオゾン層破壊物質の大気放出量を2005年度対比重量(kg)で50%削減する。《対象物質:HCFC225》	1,991kg [2005年度対比36.8%減]	1,800kg [2005年度対比42.8%減] [前年度対比9.6%減]	1,570kg [2005年度対比50%減]
	9 排水を適正に管理する。	管理手順に従った適正管理 (法規制等に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)
	10 事業場敷地周辺の環境美化に努める。	事業場周辺の環境保全活動実施	事業場周辺の環境保全活動	事業場周辺の環境保全活動
	11 原料・材料・部品・製品のグリーン購入の推進を図り、グリーン調達率を2010年までに100%とする。	グリーン調達率 44.9% [特定製品を除く]	グリーン調達率 70% [特定製品を除く]	グリーン調達率 100% [特定製品を除く]
	12 最終放流口からの油流出防止を図る。	油流出による水質汚濁の危険性有り	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)
法規制及び同意する その他の要求事項を遵守する	13 ボイラー・エンジン・空調機等に使用する燃料、ボイラー・エンジン・空調機等から放出する排ガスを適正に管理する	管理手順に従った適正管理を実施	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)

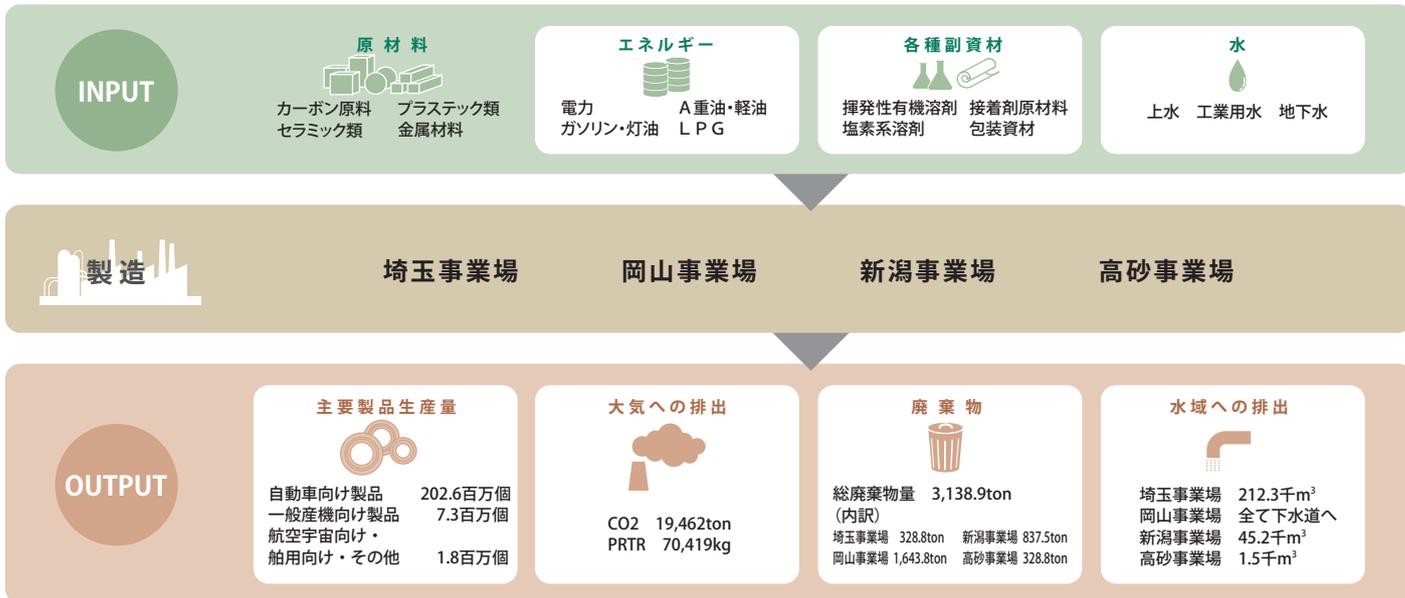
※グリーン調達率=(「グリーン調達ガイドライン」順守取引先数÷「グリーン調達ガイドライン」適用取引先数)×100



# 環境負荷低減の取り組み

EKKグループは事業活動の各段階において、環境負荷の低減に努めています。

## 事業活動と環境負荷

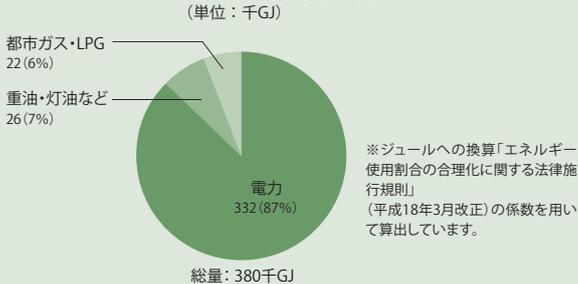


## 省エネルギーへの取り組み

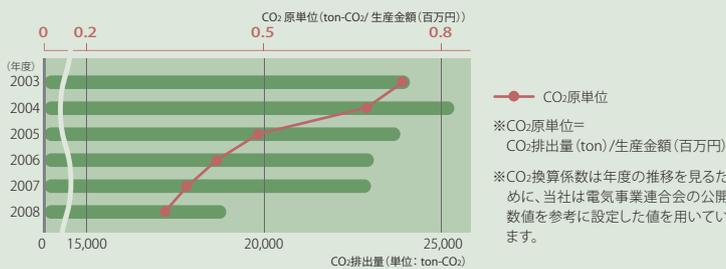
EKKグループでは、省エネルギーによる地球温暖化防止への貢献を重要な課題と捉え、従来より活動を推進しています。しかし、世界的経済不況の影響に伴う各事業場での生産減により、2008年度下期から二酸化炭素排出量が例年対比激減したことを受け、EKKグループでは従来からの長期計画（二酸化炭素排出量を2005年度対比2010年度5%削減）を見直し、2010年度二酸化炭素排出量を31.7%削減することを目標に取り組んでいます。

具体的には2008年度に重油仕様の大型コンプレッサーの電気化・ボイラーの天然ガス化など低CO<sub>2</sub>化のため、積極的な活動をしています。一方、非生産部門では、休憩中の蛍光灯・パソコン等の電源OFF活動など、全員で省エネ活動を推進しています。

2008年度エネルギー使用量の内訳



二酸化炭素排出量の推移

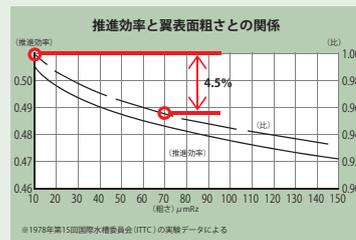


### 環境配慮型製品-2

## 船舶用プロペラ翼の省エネ研磨

コベルコイーグル・マリンエンジニアリング(株) 呉工場

船は長年の運航にもない、プロペラ翼表面への生物付着や海洋汚染による腐食やキャビテーション・コロージョンなどによりプロペラ翼表面が粗くなります。このためプロペラ効率は低下し燃費が増大します。この表面粗度を熟練したエンジニアにより精密研磨することによりプロペラ翼表面粗度を上げ、プロペラ効率も改善され燃費の低下(燃料費の削減)へとつながります。また燃費低下はCO<sub>2</sub>の削減にもなります。



## 廃棄物削減の取り組み

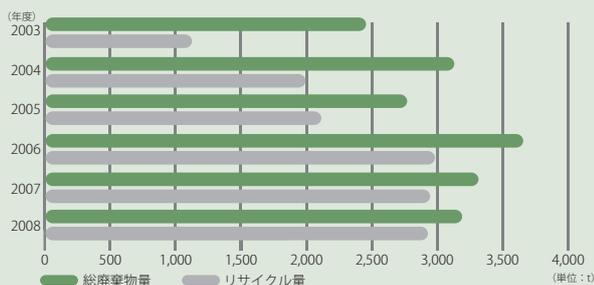
企業活動で発生する廃棄物の動向については、ステークホルダーの皆様、それもとりわけ周辺住民の方から高い関心が寄せられています。EKKグループではこれを「企業の社会的責任」と捉え、法に従い安全かつ適正に処理しています。

2001年度当初、リサイクルできたのは一部の金属廃棄物のみでしたが、その後、廃プラスチック、カーボン粉、有機汚泥等をリサイクル化し、リサイクル率を

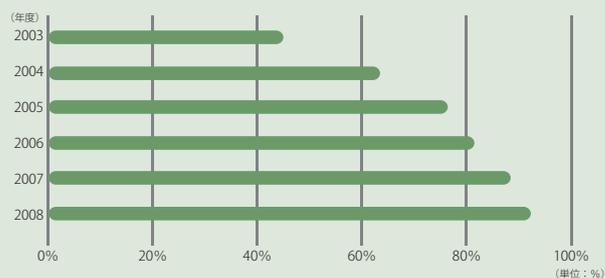
向上させてきました。2008年度下期は生産減の影響で金属リサイクル品が減少しリサイクル率の低下に傾向にありましたが、リサイクル率92%を達成しました。

循環型社会の実現に向けて、2010年度には「リサイクル率96%」を達成することを目標に、全ての事業活動で廃棄物のリサイクル化を進めています。

総廃棄物・リサイクル量の推移



リサイクル率の推移



## 省資源の取り組み

### コピー用紙削減の試み

EKKグループでは、2008年度より環境保全活動を本社・事業場だけでなく、営業支店へ対象を広げ、その中で比較的環境負荷の少ない営業支店でもEKKグループ共通の目標に取り組み、省資源の一環として過去に活動を卒業したコピー用紙使用量削減の活動を再開しました。

その結果、裏紙利用のルール化・社内文書の紙による配布禁止など、様々な改善提案をし、2008年度は目標を達成しました。

コピー用紙使用量の推移



## 汚染防止・化学物質管理

### 塩素系溶剤の使用と削減

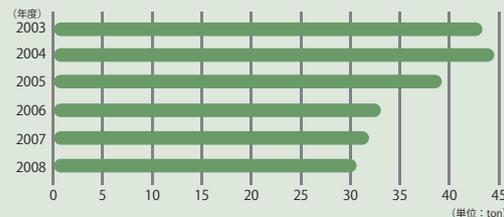
EKKグループでは、金属加工品の洗浄等のため、ジクロロメタンおよびトリクロロエチレンを使用しています。しかし、汚染の防止と事業活動における環境負荷低減のため2007年度より「2008年度末全廃」の計画を立て、代替洗浄機の導入を推進しました。

年度切替計画に若干の遅れはあったものの、代替洗浄機導入により「2008年度末全廃」をほぼ達成しました。これに伴う設備投資金額は345百万円となりました。これに満足せず、代替洗浄機のランニングコスト低減を今後の課題とし、活動を推進していきます。

ジクロロメタン使用量の推移



トリクロロエチレン使用量の推移



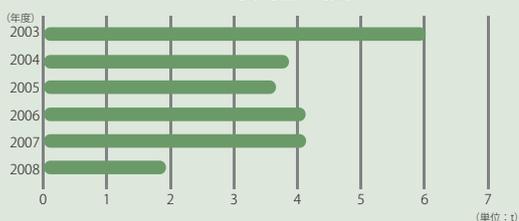
## HCFC225 (オゾン層破壊物質) の排出削減

EKKグループでは、精密部品の洗浄等にHCFC225を使用していますが、オゾン層破壊防止のため、2010年度の大気放出量を2005年度実績の50%削減とすることを目標に取り組んでいます。

2008年度の活動内容は岡山事業場で2007年度に立ち上げた回収装置を管轄の衛星企業へ水平展開し、大気放出を抑えるなど削減への取り組みを行い、目標を大きく下回りました。



HCFC225使用量の推移



## PRTR

EKKグループでは、指定化学物質の環境への排出量・移動量の届出を義務付けるPRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)に従い、2008年度は下記8物質について届出を行いました。

### PRTR対象物質の排出・移動量

政令番号	第一種指定化学物質の名称	排出量[kg]				移動量[kg]	
		大気	公共用水域	事業所土壌	事業所理立	下水道	事業所外
43	エチレンジクロール	0	0	0	0	0	1,518
144	ジクロロペンタフルオロプロパン	2,745	0	0	0	0	230
145	ジクロロメタン	45,639	0	0	0	0	24,460
198	ヘキサメチレンテトラミン	0	0	0	0	0.3	361
211	トリクロロエチレン	16,939	0	0	0	0	17,058
227	トルエン	5,096	0	0	0	0.7	859
231	ニッケル	0	0	0	0	0	12,199
266	フェノール	0	0	0	0	1	2,612
合計		70,419					59,297

## 土壌、地下水汚染改良への取り組み

埼玉事業場は1965年に開設し、その後、1997年まで金属製品の洗浄工程においてトリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタンの塩素系溶剤を使用していました。1995年からの自主調査で、これらによる土壌汚染が生じていることが判明し、また、その後の地下水調査でも汚染が判明しました。土壌汚染については汚染土壌の入替工事を行い、地下水汚染については、汚染の拡大防止のため事業場敷地境界にバリア井戸を敷設し、また事業場内に汚染除去井戸を敷設し、浄化作業を推進しています。

## EU指令 (ELV規制\*・RoHS規制\*\*) への対応

EUは、材料・構成部品に含有される環境負荷物質を排除するため、ELV規制では鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、RoHS規制では前記4物質のほかに臭素系難燃剤(ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル)の使用を禁止しました。EKKグループでは、これらの規制に対応すべく、対象製品のデータベース化を行っています。

また、2008年度は上記の環境負荷物質の全廃を目標に対象品目の抽出、代替材の検討、お客様への打診などの活動を推進しましたが、3月末時点で一部の含有製品が残りました。この製品については、目標を一年遅らせて2009年度未全廃とし、活動を推進しています。

\*ELV規制 EUが2000年10月より施行した、使用済み自動車(End of Life Vehicle)に関する指令。  
\*\*RoHS指令 EUが2006年7月より施行した、電気電子機器に関する指令。

### 調達における取り組み

#### グリーン調達の推進

EKKグループでは2008年5月に「EKKグリーン調達ガイドライン」を制定し、仕入先様へのISO14001認証取得依頼や、原材料・部品・製品・副資材に関する化学物質管理を推進しています。各事業場では仕入先様を招聘して説明会を実施するなどの活動をし、2008年度のグリーン調達率は44.9%となりました。

### (株)バルコムの環境配慮

#### 鉛フリー化を完全実施

2008年度当初、ごく一部ではありますが、鉛・六価クロムが含有されている製品があり、これらについて、環境負荷低減とRoHS対応の考えのもと、フリー製品への切替活動を行いました。

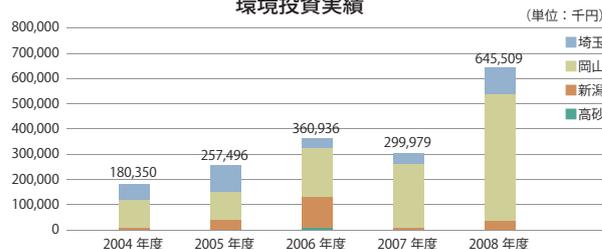
切替活動においては、フリー製品の信頼性評価試験を部品実装外製先様と協力して行い時間短縮を図るなど試行錯誤し、完全にフリー化することができました。

### 環境投資

#### 2008年度の主な投資内容

- (1) 埼玉事業場 (109,612千円) 空調機更新工事・ボイラー天然ガス化等)
- (2) 岡山事業場 (497,150千円) ジクロロメタン、トリクロロエチレン代替洗浄機(345百万円)・空調機更新工事・コンプレッサー電化等)
- (3) 新潟事業場 (38,747千円) ペロウ室チラー更新工事・照明器具の省エネ対策等)

環境投資実績



わたしのCSR活動



イーグル工業(株)  
埼玉事業場  
志村 瑞穂さん

緑で美しい地球を未来の子供たちへ残す為、今私ができる環境活動として、節電・節水・資源の再利用などの地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。

また、毎日の買い物ではレジ袋削減の為にエコバックを持参し環境保護や資源保護のために努めております。

社会とのコミュニケーション

情報の公開

EKKでは、事業報告書、技術（英文含む）マニュアルなどのコミュニケーション媒体を発行しているほか、インターネット・ウェブサイトによる情報公開を積極的に行っています。

報告書、及びその他の情報はEKKウェブサイトよりご覧いただけます。

主な公開資料一覧

- 会社案内
- 有価証券報告書
- 環境・社会報告書
- 事業報告書
- 技術パンフレット
- リクルート用資料



2008年度 年次報告書



CSR報告書 2008

Web ホームページ URL <http://www.ekk.co.jp/>

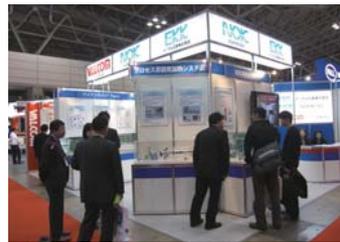
株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

EKKグループは2008年5月に決算説明会、11月には中期決算説明会を開催しました。各回ともに、企業アナリスト、機関投資家のファンド・マネージャー、マスコミ関係の方々に向けて、当社経営陣が決算情報や事業内容について説明を行いました。参加された方々からは、各事業内容などについて多岐にわたる質問があり、活発な質疑応答が交わされました。

展示会への出展

EKKグループでは、幅広いお客さまとの相互コミュニケーションを推進するために、各種展示会へ積極的に参加しております。

下の写真は08年12月にNOKと共同で「セミコン・ジャパン2008」に出展したときのもので、半導体を中心としたマイクロエレクトロニクスの製造を支える装置・材料産業の世界を代表する総合イベントです。幕張メッセで開催され、「磁性流体シール」や「溶接ペローズ」などさまざまなシーンで対応できるEKKグループのシール技術を紹介しました。特に、磁性流体シールの紹介にあたり、磁性流体固有の特性を示すデモ機（新作）や、従来型シールと組み合わせた「ハイブリッド型シール（仮称、参考出展）」を出展しました。



展示ブース（2008年10月）

お客様からの感謝状

三菱重工業より『品質優秀賞』と『VA提案努力賞』の2部門受賞

この度、三菱重工業(株)冷熱事業本部より平成20年度の品質向上活動とVA提案の貢献が高く評価され、品質優良取引先とVA提案優良取引先に選出されました。

表彰は03、04、06、07年度に続く5度目の受賞ですが、約600社の全取引会社の中で最も優れている『品質活動優秀賞』と、今回初受賞となった『VA提案努力賞』のダブル受賞となりました。

その受賞式が11月20日に執り行われ、該社冷熱事業本部長である執行役員 東間事業本部長より営業本部

吉野副本部長に表彰状と記念品が授与されました。

該社が手がける自動車用、一般産業用、家庭用エアコンや冷凍機群にNOKグループ製品を数多く納入していますが、このような名誉ある賞を頂けるという事、またそれを継続していくという事、これも関係部門の日頃からの地道な品質維持・向上活動に対する努力の賜物であると改めて深く感謝申し上げます。

今後も継続して更なるレベルアップを目指し努力して参りますので、何卒ご支援の程宜しくお願いいたします。



名古屋支店



イーグル工業(株)  
岡山事業場  
生産技術部 設備管理課  
川上 淳さん

生産技術部設備管理課に所属しており、設備保全、動力管理を担当しています。省エネ活動は、業務の一面という認識で、個人個人の省エネ活動はあまり意識していませんでした。けれども最近、車の運転でも、安全運転は地球環境保護にも利点があると知り、認識を新たにした。これからは、人と地球に優しい運転を心がけていきたいと思ひます。

## 地域社会とのふれあい

### 事業場夏祭り

EKKの各事業場では毎年7月～8月に夏祭りを開催し、従業員やその家族、また地域の住民の方々をお招きして交流を深めています。2008年度も、各事業場において種々の模擬店や趣向を凝らした各種イベントを行い、多くの皆様に来場いただき、恒例のイベントとして親しまれています。今後とも地域行事への参加やイベント開催を通じて、従業員一同団結し、地域の皆様方とのふれあいを大切にしていきます。



埼玉事業場



岡山事業場

### 地域交流活動

各事業場では、地域社会とのコミュニケーションの向上を目的とするさまざまな取り組みを行っています。

工場周辺の美化運動として、定期的に清掃活動を展開しています。また地域行事への積極的な参加を行っています。



工場周辺の美化活動：新潟事業場



岡山事業場



岡山イーグル(株)



島根イーグル(株)



高砂事業場



埼玉事業場

### AED(自動体外式除細動器)導入

全事業場・会社へ順次AEDの設置を進めています。緊急事態に対応するための人命救助として設置をしています。

救命技能を修得するために、多くの方が導入時に講習を真剣に受けています。

2009年度で全事業場・会社の設置を完了します。



高砂事業場



岡山事業場

### TOPICS

#### 地域の環境活動に参加 イーグルブルグマンジャパン(株)

弊社グループ会社イーグルブルグマンジャパン(株)は、わが国有数の湧水地である新潟県五泉市所在の企業として、2008年11月6日に同市で開催された「湧水保全フォーラム全国大会inごせん」に協賛し、フォーラム・基調講演に出席しました。

このフォーラムは、湧水環境を日本の集落や稲作文化の構成要素として捉えるとともに地域の資源として見つめ直し、湧水文化の素晴らしさを発信することを目的としています。市・地域住民・NPOとも湧水及び関連する自然・生態環境の保全に強い関心のあることが確認でき、イーグルブルグマンジャパン(株)の協賛は、環境保全と地域社会との関わり方の両面で有意義なものとなりました。



フォーラムに参加した  
新潟事業場 環境安全課 課長  
吉田 正史さん



## 安全衛生確立への取り組み

### 安全衛生方針

#### ■基本理念

イーグル工業株式会社及びそのグループ会社は、愛情と信頼の会社理念のもと、コンプライアンス（順法の精神）を活動の原点として社会的責任を果たし、社会に貢献する製品を提供することにより、永続があり夢と誇りを持つ企業を従業員と共に目指します。

この理念のもと、心身ともに健全で活力ある人材を育むと共に、無事故・無災害で快適な働き甲斐のある職場の実現に向け、安全衛生マネジネントシステムを構築して労働安全衛生活動に取り組めます。

#### ■行動指針

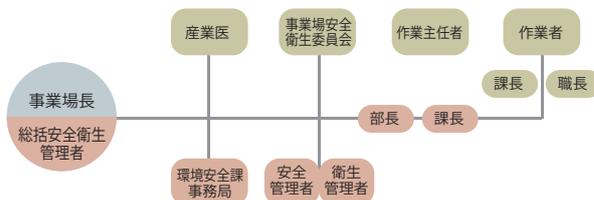
1. 全従業員の参加・協力のもと、事業活動に伴う危険源を的確に把握して評価し、重大リスクの低減に取り組めます。
2. 安全衛生目標を設定し、継続的改善により、パフォーマンスの向上を図ります。
3. 法規制及び同意するその他の要求事項を順守します。  
(その他の要求事項とは、例えば「加入している工業会の指針・綱領」等をいいます。)
4. 安全衛生及び健康保険は、良好なコミュニケーションの下に実現されるとの認識に立ち、労使間・職場間の活発な議論や協議を尊重します。
5. 安全衛生及び健康の確保に必要な教育・訓練を実施し、安全衛生・健康の重要性について周知に努め、意識高揚を図ります。

2006年4月1日

イーグル工業株式会社  
代表取締役社長 鶴 鉄二

## 労働安全衛生管理体制

EKKグループでは、各事業場長を総括安全衛生管理者とする安全衛生管理組織を設置してOHSAS18001を導入し、安全衛生活動を推進すると共に、事業場事務局と本社総務部が連携し、全社レベルの取組を行っています。従業員の安全意識の向上と労働災害情報の共有化による再発防止を目的として、1973年より毎年、NOKグループの「労働災害統計」を各事業場の課長以上の役職者へ配布しています。



## 心と体の健康

EKKグループでは、従業員の心身の健康維持・増進を目的として、24時間電話健康相談サービス（無料）を提供しています。また従業員のメンタルヘルスケアについて産業医、看護師、管理職が共同して取り組んで対応しています。

### 2008年度電話健康相談実績

相談内容	件数
健診・ドックに関する相談	12
健康保持・増進に関する相談	14
気になる体の症状についての相談	252
家庭看護	49
治療に関する相談	175
母子保健に関する相談	9
育児相談	136
夜間・休日の医療機関の案内	9
ストレス及びメンタルヘルスに関する相談	39
紹介手配に関する相談	30
その他	32
合計	757

※上記件数は、NOK、EKKグループの合計

## 従業員表彰制度

従業員表彰は、常に他の模範となり業績向上に特に貢献した従業員の労をねぎらうとともに、職場の志気を向上させる図る目的で毎年従業員表彰を行っています。2008年度は下表の通りです。

### 2008年度従業員表彰

表彰内容	受賞者数
勤務成績優秀者賞	4名
発明考案表彰	6名
製造改善表彰	32名
販売優秀表彰	15名
事務改善表彰	7名
永年勤続者表彰	60名
合計	124名



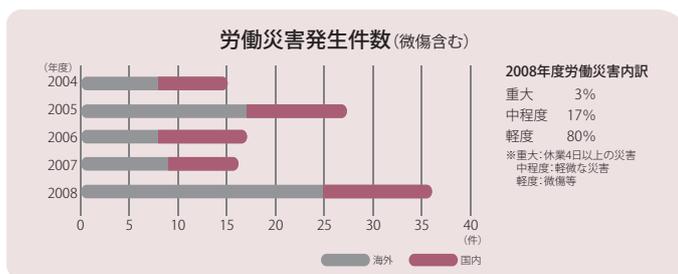
岡山事業場



## 国内外労働災害発生状況

2008年度は、労働休業災害が発生し且つ、労働災害発生件数も前年対比増加しました。リスクアセスメントの実施を行っていますが不十分であるとの反省から、09年度は、業務本部長による各事業場の点検パトロールの実施を計画的に行い「危険源ゼロの職場」を目指した活動の取り組みを行っています。

また各事業場にて、事業場長を中心に徹底した安全衛生対策を業務計画に反映させ、各事業場・各社における安全衛生管理の徹底を促しています。



## 海外グループ会社との安全衛生活動

海外関連会社と安全に対する考え方を共有し、お互いの安全について確認し合い改善を図っています。

ドイツのブルグマン社とは、日本とドイツの安全規格の違いについて討議を行うとともに、作業現場では労働災害の発生原因と改善策について確認しました。またEKKグループ間において海外の安全パトロールを実施しています。

2009年度は、日本の全国安全週間に合わせ7月1日～7日にイーグルブルグマングループにおいて独自に安全週間を実施しました。



新潟事業場

## EKKグループ国内関連会社含む設備投資

2008年度は、国内関連会社を含めた安全衛生関係投資額は、95百万円でした。

## 福利厚生

EKKグループでは、「毎日の生活の充実」「不時の場合の生活保障」「定年後の生活の安定」をキーワードに、福利厚生の充実に努めています。

### 主な福利厚生制度

目的	内容
財産形成	従業員持株会ほか
会社生活と家庭生活の調和	育児休暇、介護休暇ほか
経済的安定	退職金制度
住居等	社宅、独身寮制度、自動車リースほか

## 交通安全の取り組み

EKKグループでは、交通安全教育の一環として、各社・各支店で交通安全運動を実施しています。

無事故・無違反の従業員に対しては、5カ年毎に表彰しています。

交通事故や違反を行った従業員には、業務上、私用運転を問わず「事故報告書」「違反届け」を提出してもらい、職場毎に自戒を促し、再発防止に努めています。



埼玉事業場

## 次世代育成計画

EKKでは、所定労働の削減・年次有給休暇の取得促進などを通じて、子育てを行う従業員の会社生活と家庭生活の両面を支援するための雇用環境整備に努めています。

## 再雇用制度

EKKでは、2006年度に再雇用制度を導入しました。再雇用基準は「心身ともに健康であり、働く意欲がある者」で、多くの方がこの制度を利用して定年後の生活の安定を図る一方で、若い世代に技術・ノウハウの伝承を行っています。

## 個人情報保護

EKKグループはお客様個人を識別しうる情報の重要性を認識し、その保護については「個人情報の保護に関する法律」などを順守するとともに、プライバシーポリシーに従い管理を徹底し、「個人情報保護規定」を定め、お客様に安心してご利用いただけるよう活動しています。

### 安全設備投資

#### 2008年度の主な投資内容(修繕含む/計95百万円)

- (1) 埼玉事業場(36,389千円) 受変電室高圧コンデンサ器、電灯盤更新
- (2) 岡山事業場(51,843千円) 第1棟、2棟の原動機耐震補強工事、大扉改修工事
- (3) 新潟事業場(6,882千円) 動力プレス法定点検、クレーン年次点検



# EKK GROUP CSR Report 2009 アンケート

## ご意見・ご感想をお聞かせください。

本報告書をお読みいただきありがとうございます。

今後の参考にさせていただくために、下記のアンケートにご協力いただければ幸いです。

お手数ですが、質問事項にご回答のうえ、FAXなどでご意見をお寄せください。

イーグル工業株式会社 業務本部 総務部 CSR課 **FAX 03-3438-2294**

### Q1 この報告書全般についての評価をお聞かせください。

- |               |                                 |                             |                                 |
|---------------|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| <b>ページ数</b>   | <input type="checkbox"/> 多すぎる   | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 少なすぎる  |
| <b>わかりやすさ</b> | <input type="checkbox"/> わかりやすい | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> わかりにくい |
| <b>デザイン</b>   | <input type="checkbox"/> 良い     | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 悪い     |

### Q2 この報告書の中で印象に残った記事をお聞かせください。(複数回答可)

- |                                      |  |  |   |
|--------------------------------------|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 編集方針        | <input type="checkbox"/> 会社概要          | <input type="checkbox"/> トップメッセージ              | <input type="checkbox"/> 経営の基本方針        |
| <input type="checkbox"/> 体質改革2カ年計画   | <input type="checkbox"/> こんなところにEKK製品  | <input type="checkbox"/> EKK製品が環境負荷低減のためにできること |   |
| <input type="checkbox"/> 耐熱磁性流体真空シール | <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス   | <input type="checkbox"/> リスクマネジメントの体制          | <input type="checkbox"/> 環境マネジメント方針     |
| <input type="checkbox"/> 環境目的・目標     | <input type="checkbox"/> 事業活動と環境負荷     | <input type="checkbox"/> 省エネルギーへの取り組み          | <input type="checkbox"/> 船舶用プロペラ翼の省エネ研磨 |
| <input type="checkbox"/> 廃棄物削減の取り組み  | <input type="checkbox"/> 汚染防止・化学物質管理   | <input type="checkbox"/> 調達における取り組み            | <input type="checkbox"/> (株)バルコムの環境配慮   |
| <input type="checkbox"/> 環境投資        | <input type="checkbox"/> 社会とのコミュニケーション | <input type="checkbox"/> お客様からの感謝状             | <input type="checkbox"/> 地域社会とのふれあい     |
| <input type="checkbox"/> TOPICS      | <input type="checkbox"/> 安全衛生確立への取り組み  | <input type="checkbox"/> 安全衛生投資                | <input type="checkbox"/> サイトレポート        |
| <input type="checkbox"/> わたしのCSR活動   |  |  |   |

### Q3 この報告書をどのような立場でお読みになれましたか。

- |                                |                                  |   |                                   |
|--------------------------------|----------------------------------|---|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お客様   | <input type="checkbox"/> 株主・投資家  | <input type="checkbox"/> 当事業場の近隣にお住まいの方 | <input type="checkbox"/> 政府・行政関係者 |
| <input type="checkbox"/> 報道関係者 | <input type="checkbox"/> NGO・NPO | <input type="checkbox"/> 企業・団体の環境担当者    | <input type="checkbox"/> 調査・研究機関  |
| <input type="checkbox"/> 学生    | <input type="checkbox"/> 当社従業員   | <input type="checkbox"/> その他( )         |                                   |

### Q4 報告書全般や当社の取り組みに対するご意見・ご感想を自由にお書きください。

#### ご協力ありがとうございました。差し支えない範囲で、下記にご記入ください。

ご記入いただいた個人情報は、本アンケートの統計処理のみに使用します。情報は適切に管理し、第三者への開示は行いません。

お名前	性別	年齢
	男性 ・ 女性	歳
ご住所(ご自宅・勤務先)		
〒		
TEL:	FAX:	E-mail:
勤務先、学校名など	部署・役職名	次年度報告書の送付を希望されますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ



イーグル工業株式会社  
〒105-8587 東京都港区芝大門1-12-15 正和ビル  
<http://www.ekk.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で、FSC認証紙、VOC削減効果の高い「水なし印刷」「W2インキ」を使ってつくりました。